

下関市立吉見小学校の児童がシイタケの駒打ち作業を体験

令和6年2月27日（火曜日）、下関市立吉見小学校5年生25名がシイタケの駒打ち作業を体験しました。

これは、次代を担う子どもたちに、森林からの恵みや大切さへの理解を深めてもらうために下関市林業研究会（会長：竹村 勝）が実施したものです。

当日は、竹村会長による森林の役割やシイタケ栽培の話の後、クヌギの原木30本に木槌でシイタケの駒打ちを行いました。

作業を体験後、児童らは林研会員にシイタケ栽培や森林について、積極的に質問するなど、森林への興味が高まった様子でした。

今後も下関市林業研究会では、市民への森林・林業への関心が高まる活動を行っていきます。



竹村会長の話



シイタケ駒打ち体験